

## ウガンダ月報(2019年7月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- ウガンダ当局によるルワンダ系教会強制捜査

#### 【外政】

- ビオ・シエラレオネ大統領のウガンダ訪問
- スーダン暫定軍事評議会議長によるムセベニ大統領訪問
- アンゴラにおける四者首脳会談
- ムセベニ大統領とマグフリ・タンザニア大統領の非公式会談

#### 【経済】

- ウガンダ・タンザニア間の石油パイプライン建設の進捗
- タンザニアによるタンザニア製糖業者への輸入許可
- ウガンダ・ア首連の貿易の促進
- ケニア及びコンゴ(民)への輸出の急成長

#### 【内政】

- 23日、ウガンダ警察及び軍諜報機関は、カンパラ市内中心部のペンテコステ派の教会で40名以上のルワンダ人を、安全保障上の懸念により逮捕した。ウガンダ人民軍のカレミレ報道官は、24日、逮捕したことは認めたが、逮捕者数については言及を避けた。関係者の話では、4月にも同様に官憲による立入りが行われ、教会指導者のママ・ケヴィン(Mama Kevin)やその夫を含む数名が軍諜報機関に連行された。(25日付ニュー・ビジョン紙)

#### 【外政】

- 1日、ビオ・シエラレオネ大統領は、エンテベの大統領官邸でムセベニ大統領と首脳会談を行った。ビオ大統領は、「ウガンダは開発と安定という点で重大な進歩を遂げた。我々はウガンダとそのリーダーシップを尊敬するし、ウガンダから学びたい。ウガンダは平和と安定を達成してきており、これこそが開発の生まれ得る環境である。」と述べた。(2日付及び3日付ニュー・ビジョン紙及びデイリー・モニター紙)
- 5日、ブルハン・スーダン暫定軍事評議会議長は、ムセベニ大統領を訪問し、スーダン情勢について説明した。ムセベニ大統領は、「スーダン情勢が次第に正常化していると知らされ嬉しく思う。」と述べた。ブルハン議長は、「ムセベニ大統領はアフリカの父であり、聡明で経験豊富な人物である。」と述べた。(7日付サンデー・ビジョン紙)
- 12日、ムセベニ大統領、ロウレンソ・アンゴラ大統領、カガメ・ルワンダ大統領、チセケディ・コンゴ(民)大統領は、アンゴラにおいて四者首脳会談を行った。この会談では、ウガンダ、ルワンダ及びコンゴ(民)国境の安全保障並びにルワンダ・ウガンダ関係について話し合われた。

(15日付デイリー・モニター紙)

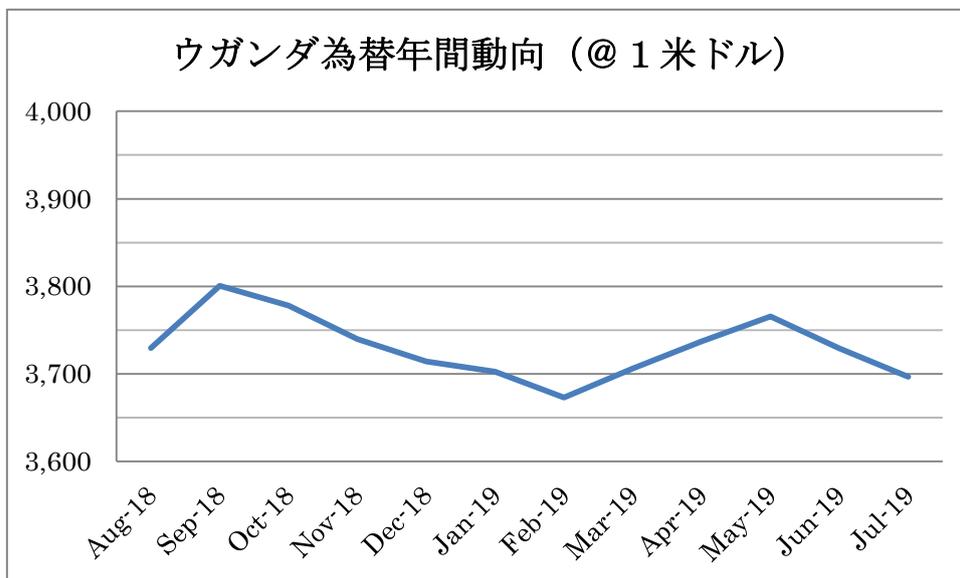
- 13日、ムセベニ大統領はマグフリ・タンザニア大統領の故郷であるタンザニア北東部のチャト(Chato)を非公式訪問した。二国間会談を行った両首脳は、東アフリカにおける物流を促進するためのビクトリア湖の水運の活用など、両国の経済関係について議論した。マグフリ大統領は、「ケニア、ウガンダ及びタンザニアは、物流を促進するための船舶を購入するために共同で出資する意向がある。」と述べた。(15日付ニュー・ビジョン紙)

#### 【経済】

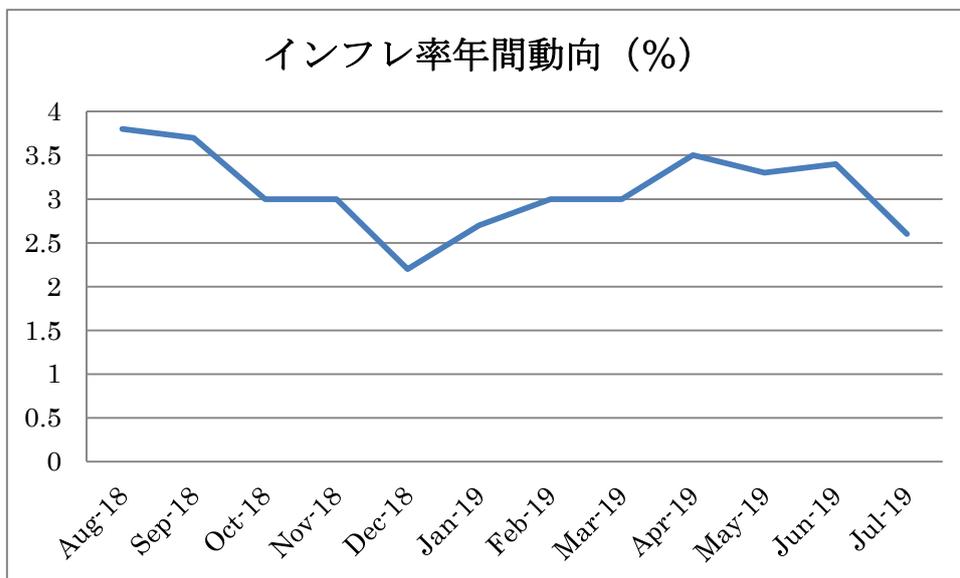
- 10日、ムリマ(Aziz Mlima)駐ウガンダ・タンザニア大使は、「我々は石油パイプラインの建設を開始する準備が来ている。我々は、タンガ港に石油タンクのための地所を確保しており、石油パイプラインに関する活動を協調・監督するための連絡事務所を立ち上げるための地所をウガンダに与えている。」と述べた。直径24インチのパイプラインは、30億米ドルを要すると試算されており、2022年の完工の暁には日量21万6,000バレルの原油の輸出が可能になるとみられる。(11日付ニュー・ビジョン紙)
- 17日付当地タンザニア大使館発ウガンダ外務省宛書簡によると、タンザニア企業に対してウガンダ産砂糖の輸入許可が付与された。2018年7月以来、ウガンダ企業がEAC域外産の砂糖を再輸出しているとして、タンザニアはウガンダ産の砂糖を禁輸していた。同年12月のチャンバッデ貿易産業大臣とカクンダ・タンザニア産業貿易大臣の会談の後、ウガンダ産砂糖に対する禁輸措置は撤廃されていたが、その後約6か月にわたり輸出許可は付与されていなかった。(24日付ニュー・ビジョン紙)
- ウガンダ中銀の統計によると、3月、中東地域への264百万米ドルの輸出のうち、ア首連は259百万米ドルを占め、COMESA地域への輸出額を上回った。この背景には、2018年10月15日から18日、アブダビのウガンダ大使館がア首連ウガンダ人協会(AUU)と共同でドバイでの商談会を開催したことがある。(24日付ニュー・ビジョン紙)
- ウガンダ中銀によると、5月のウガンダからケニアへの輸出額は、4月の33百万米ドルから5月には72百万米ドルとなり、54%増加した。輸出品目の内訳は、主に最大の輸出品であるトウモロコシに加え、マメ、ゴマ、パイナップル及びスイカである。5月には、これまで輸出が禁止されていた家禽製品もケニアへの主要な輸出品となった。同じく、コンゴ(民)への輸出も、同時期、20.5百万米ドルから24.9百万米ドルとなり、17%増加した。(24日付デイリー・モニター紙)

(別紙)2019年7月主要経済指標(ウガンダ中央銀行)

・ウガンダ・シリング為替相場@1米ドル:3,696,5シリング(前月3,729.0シリング)



・インフレ率(前期比年率):2.6%(前月3.4%)



・政策金利: 10. 0%(前月: 10. 0%)

